

(案内①)
弘園 け 第9号
令和6年10月1日

運営推進会議 関係者各位

社会福祉法人東京弘済園
三鷹市高齢者センターけやき苑
所長 石川 まゆ美

認知症対応型通所介護「けやきの会」
運営推進会議の開催について

拝啓 初秋の候 ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
当苑の事業につきましては、平素よりご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、令和6年度第1回の運営推進会議を下記の日程で開催することを計画しております。ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご出席方よろしくお願い申し上げます。連絡が遅くなり大変申し訳ございません。 敬具

記

1. 日 時：令和6年10月30日（水）13：10～14：30
2. 場 所：けやき苑
3. 内 容：①令和6年度上半期「けやきの会」事業の実施状況
②認知症対応型通所介護の見学・体験
③質疑応答、意見交換

*当日の出欠については、10月19日（土）までにFAX又はお電話でご連絡下さい。
(FAXでの返信の場合は、出欠の有無に○印をつけて送信をお願いします)

10月30日（水）13：10～14：30の運営推進会議に

・出席します

・欠席します

けやき苑 電 話：0422-34-5440
F A X：0422-34-6538
担当：有江、小曾根

令和6年度 けやきの会

運営推進会議のご案内

運営推進会議とは…

「運営推進会議」は、けやきの会の活動や運営状況について、地域の方に知ってもらい、よりよい活動になるように意見交換などを行なう場です。この会議には地域の方やご利用者のほかに、けやきの会の活動を知っていただく機会としてご家族にもお声をかけております。ご多忙とは存じますが、参加していただける場合はお電話又は下記の用紙を連絡ノートに入れてお返事をお願いします。

記

日時：令和6年10月30日（水）13：10～14：30

場所：けやき苑 食堂

- 内容：①「けやきの会」事業の実施状況
②「けやきの会」の活動見学
③質疑応答、意見交換

連絡先：けやき苑 34-5440（有江・小曾根）

切り取り線

けやきの会 運営推進会議に参加します

参加ご家族のお名前： _____

（ご利用者のお名前： _____）

けやき苑認知症対応型通所介護事業 利用実績等(令和6年度上半期)

資料①

【実績及び利用状況】(令和6年4月～令和6年9月)

<実施日数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月
25日	24日	25日	26日	26日	23日

<登録人数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月
21	21	24	25	24	25

<新規受入数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月
2	1	4	2	0	1

*新規ご利用者では、他一般デイから変えて希望された方、ご主人が通所利用希望で見学されたところ奥様のほうが向いていると利用を希望された方がいました。

*4・5・6・7・9月に1名ずつ一般型から認知型に移行しています。

<終了者数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	1	1	1	0	1

*利用終了者については、施設入所での終了が2名、長期入院3名でした。
(1名は週6回のご利用でした)

<利用者年齢> 平均87.2歳

65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～
0	1	2	2	11	8	1	0

*70歳代の利用者については認知症症状の進行もあり、活動内容にも工夫が必要となっています。
今後も70歳代の方の新規利用予定があります。

<通所回数> 平均2.12回

1回	2回	3回	4回	5回	6回
7	12	4	0	2	0

*曜日増のご提案もしていますが、上半期の間には利用に繋がりませんでした。現在曜日増の希望があり、受けていく予定です。

<要介護度別の実利用者数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護1	9	9	10	12	11	11
要介護2	4	4	6	6	5	5
要介護3	6	5	5	4	4	4
要介護4	2	2	3	3	4	5
要介護5	0	0	0	0	0	0
申請中	0	1	0	0	0	0
合計	21	21	24	25	24	25

*身体機能の高い利用者が多く、運動的な内容なども多く取り入れた活動ができています。
*コロナによる特例申請がなくなり、更新認定を受けた結果、介護度が上がった方もいました。

<延べ利用者数、一日の平均利用人数、利用率>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護1	67	63	72	73	78	67
要介護2	38	40	62	63	54	37
要介護3	47	39	43	32	34	21
要介護4	12	11	14	19	30	45
要介護5	0	0	0	0	0	0
1日平均人数 (定員12名)	6.5	6.6	7.6	7.1	8.1	7.3
利用率	54.7%	55.6%	63.7%	59.9%	62.8%	61.6%

*新規利用者も増えてはいますが、終了者も同様にいますので、利用率としては微増となっています。

<令和6年9月30日現在の曜日別登録人数> 1日定員12名

	月	火	水	木	金	土
要介護1	1	4	3	4	3	3
要介護2	2	3	2	2	0	2
要介護3	4	1	2	2	2	1
要介護4	2	2	2	0	3	3
要介護5	0	0	0	0	0	0
申請中	0	1	0	1	0	0
合計	9	11	9	9	8	9

※令和6年9月30日現在の登録人数は25名です(女性9名、男性6名)。以前に比べ男性が増えています。
そのうち入浴サービス利用者は9名、定期的にショートステイ利用しているのは2名です。

「事故・ヒヤリハット報告」 令和6年度上半期(令和6年4月～令和6年9月) 資料③

◆事故・ヒヤリハット

発生日時	氏名	場所	事故区分	発生状況	原因分析	再発防止策
05/1 (月) 8:30	87歳 男性 要介護3	ご自宅	【その他】	5月1日より送迎バスの時刻を変更したにもかかわらず、4月中の暫定の時刻で迎えに行ってしまった。奥様はそのまま乗車して通所して欲しい様子であったが、9時10分に改めて迎えに来ると伝え通過した。	<ul style="list-style-type: none"> 情報の伝達・確認が不十分であった。 出欠台帳で当日乗車利用者の確認を怠った。 送迎ファイルの付箋(暫定)が4月分であることを見逃した。 	送迎表の内容確認を怠らないように徹底する。
08/21 (水) 14:35	87歳 男性 要介護3	げやきの部屋	【異食】	<p>アヒルの人形(3cm位)を口に入れた。これを見ていた他利用者が「今食べたわよ」と教えてくれたため、職員が確認すると口内からアヒルの人形が出てきた。</p> <p>ご本人との直近の会話 アヒルの袋を指し「それなあに？」と尋ねられ職員から「今日の活動で使ったアヒルの人形です」と答える。ご本人から「それ見せて」と言われ「どうぞ」と袋ごと渡してしまう。 ご本人から「これ食べれるの？」と聞かれ「食べられませんが」と答え安心してしまいました。その後口に入れ教回囓んだ様子。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職員の風守りがなかった。 記録の入力や、活動の片付けに職員が気を取られ、利用者から目を離してしまっていた。 ご本人の異食の可能性を認識していなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は異食の可能性がある事を考慮し、活動を行うようにしていく。 職員間で声をかけ合い、利用者から目を離す時間が発生しないよう徹底していく。
08/31 (水) 17:10	89歳 女性 要介護3	屋外 (送迎バス車内)	【事故】	(徘徊で)屋外に出てしまった為、職員が付き添っていたところ、帰りの送迎車が戻ってきた為、車に乗るように声を掛け乗車していたご本人に成功するも、扉を閉めた時にご本人の左手を挟んでしまった。	<p>ご本人が扉の側の1人席に着席(バスは代車で運転席後ろに座りにくい配置)。 着席後、かなりの時間を歩いていたことと、雨が降っていた状況に気持ちは向き、ご本人の左手がどこにあるかの確認を怠ってしまった。</p>	<p>徘徊に付き添った職員が携帯電話を所持せず、外に出てしまった為、連絡の手段がなくなり複数の職員で探すことになり、見つかるまでかなりの時間を要してしまったので、こういったケースの場合、出入口(受付)に置いてある携帯電話を必ず持参し、他職員でフォローできる体制を取る。 また利用者の安全確認を怠らないように留意する。</p>

9/30 (月) 14:15	83歳 女性 要介護3	けやきの部屋	【異食】	製作実施中、職員が目を離してしまったりした際に 両面テープの剥がした紙を口に入れる瞬間 を発見。すぐに駆け寄るも一瞬口の中に入っ てしまった。	今まで異食行為なかったため、職員も 注意していなかった。	異食行為がある・ないに関わらず、口に入れるよう な物が手の届く範囲にある場合、絶対に目を離す 時間を作らない。
----------------------	-------------------	--------	------	--	---------------------------------	---

◆ 苦情
・なし

三鷹市高齢者センターけやき苑 宛 (11/9㍻切)

(ファックス 0422-34-6538)

または

(メール keyakien@kosaien.or.jp)

令和6年度上半期 けやき苑認知症対応型通所介護 運営推進会議

返信用紙

ご記入者名	民生委員
ご意見・ご要望・ご助言等	認知症対応型通所とのことで利用率を上げる(利用していただく)ことの難しさを理解できました。 ケアマネさんを含めた啓蒙など今回出た意見を含めて実施いただけるとよいと思いました。ありがとうございました。

ご記入者名	地域包括支援センター
ご意見・ご要望・ご助言等	認知症対応型デイの様子がよくわかりました。 今後外部の見学ツアーをやるときはぜひ参加させてください。 もっと市民と関係者にデイの効果を知ってもらい、利用率アップにつながることを願っています。

ご記入者名	認知症介護に知見を有する者
ご意見・ご要望・ご助言等	<ul style="list-style-type: none">・けやき苑は一般型・認知症対応型の2つがあるので、一般からの移行での受け入れが出来ることを強みとして、どう利用につなげていけるか?の検討。・ご本人・家族への事業の説明、事業アピール、メリット・デメリットを事業所で検討してみてください。・他事業所(4か所)との情報共有。将来的に市内での認知デイの紹介や営業活動が出来るように。(運営推進会議で利用率の改善について意見あり)・事故報告が少なく、職員さんの日々の努力の賜物と思います。現場の皆さんにもお伝えください。 <ul style="list-style-type: none">・活動の様子を見て、創意工夫が感じられました。想定できないようなことも起こると思いますが、利用者さんが楽しく安全に過ごせる空間、活動を継続してください。